平成24年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年１月25日

上 場 会 社 名　信越ポリマー株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7970　　ＵＲＬ　http://www.shinpoly.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）　赤澤　宏
問合せ先責任者　（役職名）経理グループマネジャー（氏名）　平澤秀明　（TEL）　03(5289)3716

四半期報告書提出予定日　平成24年２月10日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年３月期第３四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第３四半期	47,819	△10.9	793	△71.6	876	△63.5	115	△90.5
23年３月期第３四半期	53,675	5.2	2,796	72.2	2,405	27.6	1,217	△0.9

（注）包括利益　24年３月期第３四半期　△1,199百万円（－%）　23年３月期第３四半期　△738百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年３月期第３四半期	1.43	－
23年３月期第３四半期	14.98	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第３四半期	81,125	60,427	73.4
23年３月期	81,326	62,710	75.8

（参考）自己資本　24年３月期第３四半期　59,536百万円　23年３月期　61,669百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	－	4.50	－	7.50	12.00
24年３月期	－	4.50	－		
24年３月期(予想)				4.50	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　　期	64,000	△9.2	1,200	△64.6	1,200	△60.7	400	△67.3	4.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

４．その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ：無
新規　　ー社　　（社名）　　、除外　　ー社　　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ：無
② ①以外の会計方針の変更 ：無
③ 会計上の見積りの変更 ：無
④ 修正再表示 ：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年３月期３Ｑ	82,623,376株	23年３月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	24年３月期３Ｑ	1,337,899株	23年３月期	1,337,239株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年３月期３Ｑ	81,285,852株	23年３月期３Ｑ	81,287,069株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信【添付資料】３ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・ 3
３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・ 6
(3)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(4)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・ 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、欧米経済の減速感が加速し、先行き不透明感が強まりました。また、震災の影響から持ち直す動きのあった日本国内経済も、円高の長期化やタイの洪水などが影響し、景況感が悪化してまいりました。

当社グループ関連の市場環境につきましては、電子デバイス事業における情報端末機器市場の激しい変化、精密成形品事業では半導体や電子部品の市場低迷など、厳しい状況が続いております。

このような背景のもと、当社グループは、国内外での新製品提案、新規開拓など販売活動の積極推進やコスト低減などに努めましたが、急激な需要変動による受注減少を補えませんでした。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は478億19百万円（前年同四半期比10.9％減）、営業利益は７億93百万円（前年同四半期比71.6％減）、経常利益は８億76百万円（前年同四半期比63.5％減）、四半期純利益は１億15百万円（前年同四半期比90.5％減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子デバイス事業

当事業では、携帯電話市場における急激な需要変動、また円高など為替の影響もあり、全体として大幅に前年を割る厳しい状況が続きました。

入力デバイスでは、主力の携帯電話用キーパッドが、スマートフォンなどフルタッチ方式への急速な移行により受注減少が続き、売上・利益とも前年を大幅に下回りました。自動車用キーパッドは、上半期の後半から自動車生産が急速に回復したことにより、出荷は前年を上回りました。またセンサーシートは、パソコンのタッチパッドや自動車のコンソールパネル用途で伸長しました。ディスプレイ関連デバイスでは、インターコネクターおよび大型液晶TV用パッキンは減少しましたが、ATM用の視野角制御フィルム（VC-Film)は堅調でした。コンポーネント関連製品では携帯電話向け防水製品が伸びました。

この結果、売上高は128億４百万円（前年同四半期比26.8％減）、セグメント損失(営業損失）は３億72百万円（前年同四半期は８億91百万円の利益）となりました。

②精密成形品事業

当事業では、OA機器用部品は堅調に推移しましたが、半導体関連容器、キャリアテープ関連製品が低調となり、全体としては前年を下回りました。

半導体関連容器につきましては、秋口以降の半導体業界の生産調整や合理化などの影響で、出荷は低調となりました。キャリアテープ関連製品は、電子部品業界の生産調整の影響が続き、低調に推移しました。OA機器用部品は、一部タイの洪水の影響を受けましたが、新興国需要を背景に、堅調に推移しました。シリコーンゴム成形品は、医療関連製品、電子部品関連製品が下半期より伸び悩みとなりました。

この結果、売上高は180億73百万円（前年同四半期比5.6％減）、セグメント利益(営業利益）は15億49百万円（前年同四半期比13.6％減）となりました。

③住環境・生活資材事業

当事業は、全体として売上げは前年並みとなりましたが、原料コストや販売価格の動向に影響を受けました。

塩ビパイプ関連製品は、前年を上回る出荷となりましたが、下半期に入り市況は弱含みとなりました。外装材関連製品は、ホームセンタールートを中心に、前年を上回る出荷となりました。主力のラッピングフィルムは、関連市場の外食産業需要に回復の兆しがありましたが、厳しい状況が続きました。プラスチックシート関連製品は低調でしたが、機能性コンパウンドは、自動車市場の生産回復により堅調に推移しました。

この結果、売上高は132億17百万円（前年同四半期比0.7％減）、セグメント損失(営業損失）は２億16百万円（前年同四半期は61百万円の利益）となりました。

④その他

工事関連事業は、商業施設の改装物件などの受注は堅調に推移しましたが、価格競争の影響を受けました。

この結果、売上高は37億24百万円（前年同四半期比0.0％減）、セグメント損失(営業損失)は89百万円（前年同四半期は14百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第３四半期連結会計期間末における総資産は811億25百万円（前連結会計年度末比２億円の減少）となりました。これは、現金及び預金が６億81百万円、仕掛品が２億74百万円、商品及び製品が２億20百万円それぞれ増加したこと、また、有形固定資産が９億94百万円、投資その他の資産が３億51百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第３四半期連結会計期間末における負債は206億97百万円（前連結会計年度末比20億82百万円の増加）となりました。これは、支払手形及び買掛金が21億49百万円、未払費用が２億99百万円、流動負債のその他が未成工事受入金の増加などにより１億98百万円それぞれ増加したこと、また、賞与引当金が４億５百万円、未払法人税等が２億17百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第３四半期連結会計期間末における純資産は604億27百万円（前連結会計年度末比22億82百万円の減少）となりました。これは、為替換算調整勘定が12億27百万円、利益剰余金が８億59百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して2.4ポイント減少し、73.4％となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月25日に公表いたしました内容から変更しておりません。

しかしながら、欧州の債務問題を発端とした世界的な景気の減速懸念が高まっていることや、円高の長期化など、依然として先行きの不透明な状況が続くものと思われ、また、当社グループの関連市場を取り巻く環境も厳しさを増しております。

これらの情勢により、通期連結業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,874	27,555
受取手形及び売掛金	19,375	19,401
商品及び製品	4,992	5,213
仕掛品	740	1,015
原材料及び貯蔵品	2,180	2,349
未収入金	1,513	1,406
繰延税金資産	639	457
その他	271	352
貸倒引当金	△172	△159
流動資産合計	56,415	57,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,112	7,497
機械装置及び運搬具（純額）	4,945	4,465
土地	6,166	6,130
建設仮勘定	922	1,140
その他（純額）	1,030	948
有形固定資産合計	21,177	20,182
無形固定資産		
ソフトウエア	162	129
その他	30	30
無形固定資産合計	192	160
投資その他の資産		
投資有価証券	1,223	1,112
繰延税金資産	1,286	1,095
その他	1,030	981
投資その他の資産合計	3,540	3,189
固定資産合計	24,911	23,532
資産合計	81,326	81,125

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,168	15,318
短期借入金	1	0
未払金	348	394
未払法人税等	441	224
未払費用	996	1,295
賞与引当金	849	443
役員賞与引当金	22	15
その他	530	728
流動負債合計	16,357	18,422
固定負債		
長期借入金	4	3
退職給付引当金	1,691	1,734
資産除去債務	182	183
その他	379	354
固定負債合計	2,257	2,275
負債合計	18,615	20,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,469	10,469
利益剰余金	46,270	45,410
自己株式	△944	△944
株主資本合計	67,430	66,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	63
為替換算調整勘定	△5,869	△7,097
その他の包括利益累計額合計	△5,760	△7,033
新株予約権	348	248
少数株主持分	692	642
純資産合計	62,710	60,427
負債純資産合計	81,326	81,125

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	53,675	47,819
売上原価	39,491	36,007
売上総利益	14,183	11,812
販売費及び一般管理費	11,386	11,018
営業利益	2,796	793
営業外収益		
受取利息	62	97
その他	113	91
営業外収益合計	175	188
営業外費用		
支払利息	77	25
為替差損	479	73
その他	10	7
営業外費用合計	567	105
経常利益	2,405	876
特別利益		
固定資産売却益	9	3
投資有価証券売却益	0	－
貸倒引当金戻入額	2	－
償却債権取立益	1	－
新株予約権戻入益	1	120
特別利益合計	15	124
特別損失		
固定資産除却損	56	11
投資有価証券売却損	－	0
投資有価証券評価損	－	29
会員権評価損	1	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	112	－
特別損失合計	169	46
税金等調整前四半期純利益	2,250	955
法人税、住民税及び事業税	634	516
法人税等調整額	385	341
法人税等合計	1,019	858
少数株主損益調整前四半期純利益	1,231	96
少数株主利益又は少数株主損失（△）	13	△18
四半期純利益	1,217	115

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,231	96
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	△45
為替換算調整勘定	△1,894	△1,250
その他の包括利益合計	△1,969	△1,296
四半期包括利益	△738	△1,199
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△656	△1,157
少数株主に係る四半期包括利益	△82	△42

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,490	19,148	13,312	49,951	3,724	53,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	17,490	19,148	13,312	49,951	3,724	53,675
セグメント利益	891	1,793	61	2,746	14	2,760

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	2,746
「その他」の区分の利益	14
棚卸資産の調整額	13
固定資産の調整額	12
貸倒引当金の調整額	15
その他の調整額	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	2,796

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,804	18,073	13,217	44,095	3,724	47,819
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	12,804	18,073	13,217	44,095	3,724	47,819
セグメント利益又は損失（△）	△372	1,549	△216	961	△89	871

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	961
「その他」の区分の損失	△89
棚卸資産の調整額	△94
固定資産の調整額	9
貸倒引当金の調整額	6
四半期連結損益計算書の営業利益	793

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。